

ウンカ類情報第1号

令和5年7月3日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

**トビイロウンカは確認されていません。
セジロウンカの発生量は平年並です。**

1 トビイロウンカ及びセジロウンカの 飛来予測

日本植物防疫協会提供の飛来予測によると、本県へのトビイロウンカ及びセジロウンカの飛来に適した気象条件は、7月2日時点で6月9日（図）と7月1日の計2回出現しています。

2 トビイロウンカ

6月下旬の本田調査では発生を確認しておらず、予察灯においても誘殺されていません。

3 セジロウンカ

6月下旬の本田すくい取り調査において、88ほ場中1ほ場で成虫が捕獲されました。また、本田払い落とし調査において、88ほ場中4ほ場で成幼虫が捕獲されました。捕獲虫数はすくい取りで平年に比べてやや少なく、払い落としで平年並です（表）。

予察灯では、豊川市で6月11日に1頭誘殺されています。

ほ場ごとに発生量が異なると考えられるため、ほ場をよく観察し、発生量が多い場合は防除しましょう。今後、斑点米カメムシ類の防除時期に入りますので、同一薬剤の連用にならないよう計画的に薬剤を選択しましょう。なお、本県で栽培されている「あいちのかおり SBL」や「あさひの夢」はセジロウンカ殺卵反応（注）が弱い品種であるため、注意をしてください。

（注）セジロウンカの産卵によって殺卵物質が生成されるイネの生体防御反応

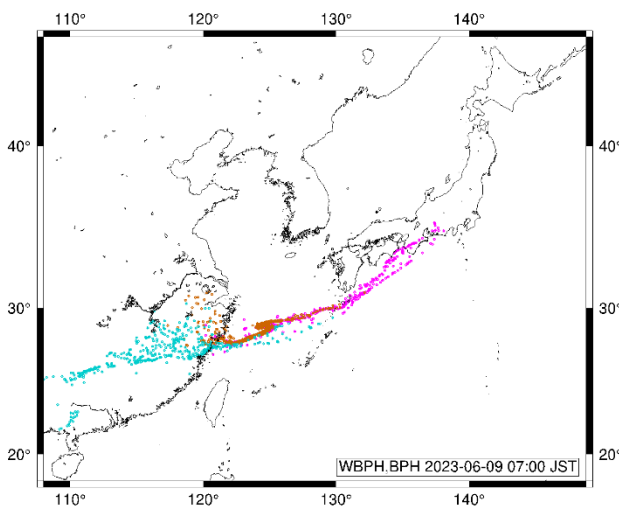


図 ウンカ類飛来予測図
（6月9日7時）

提供：JPP-NET

表 セジロウンカの6月下旬本田調査結果（1ほ場当たりの平均捕獲虫数） 単位：頭

調査方法	成虫	幼虫	計
捕虫網による20回すくい取り	0.01 (0.07)	0 (0.01)	0.01 (0.08)
水稻10株の払い落とし	0.03 (0.03)	0.09 (0.10)	0.13 (0.13)

（ ）内は、平年値（平成25～令和4年の平均）